

市の情報をテレビ埼玉で発信しています

☎秘書課 (☎574 - 6631)

市では、テレ玉（地上デジタル放送の3チャンネル）のデータ放送を活用し、身近なテレビを通して、防災行政無線で放送した内容や、イベント情報などを発信しています。ぜひご覧ください。

《データ放送の視聴方法》

- 1 テレ玉を視聴する。
- 2 リモコンの【d】ボタンを押す。
- 3 テレ玉のデータ放送画面が開く。
- 4 画面左下の一覧から『深谷市からのお知らせ』を選び、リモコンの【決定】ボタンを押す。

小児がんなどの治療のため、造血細胞移植（骨髄移植など）を受けたことによる再接種費用についての助成を行っています。

対象 次の1〜3すべてにあてはまるかた

1 造血細胞移植（骨髄移植、末梢血幹細胞移植およびさい帯血移植）によって、移植前に接種した定期予防接種の免疫が低下または消失したため、再接種が必要と医師が認めるかた

2 再接種を受ける日において、深谷市に住民登録がある20歳未満のかた

3 令和4年4月1日以降の再接種であること

対象となる予防接種 予防接種法のA類疾病の定期予防接種で、再接種が必要と医師が認める予防接種

助成額 医療機関に支払った再接種に係る予防接種料の額（市の規定する上限額があります）

※費用助成の申請前に問い合わせ先までご相談ください。

申請期限 再接種を受けた日から1年以内

※詳しくは市ホームページをご覧ください。



▲市ホームページ

造血細胞移植(骨髄移植など)後のワクチン再接種費用を助成しています

問い合わせ 保健センター (☎575-1101)

市メール配信サービスをご利用ください

問い合わせ 秘書課 (☎574-6631)

3月27日(月)からメール配信サービス新規登録時の送信先が変わります！

システムの切り替えに伴い、市メール配信サービス新規登録時の空メール送信の宛先が3月27日(月)から変更となります。

《新規登録空メール送信宛先》

3月20日(月)までの送信先

☒fukaya@fukayamail.jp

※右記QRコードを読み取り送信できます。



3月27日(月)からの送信先

☒fukaya@emp-sa.smart-igov.jp

※右記QRコードを読み取り送信できます。



※3月21日(祝)～26日(日)は新規登録が受け付けできませんので、ご注意ください。

※すでに市メール配信サービスを登録しているかたは特に手続きは不要です。また、市メール配信サービスから登録者へ送信するメールアドレスは変更ありません。

市メール配信サービスとは、市からのお知らせや、災害・防災に関する情報などをメールで配信するサービスです。登録無料（通信費は利用者負担）ですので、ぜひご利用ください。

配信する情報(選択して登録可)

- 1 市からのお知らせ
- 2 災害・防災情報
- 3 火災情報
- 4 その他の防災行政無線情報
- 5 アンケート

登録方法 インターネットに接続できる携帯電話やスマートフォン、パソコンから左欄に記載している宛先に空メールを送信。返信された本登録案内メールに記載された内容に従って手続きを行う。

深谷市のウクライナ支援状況を報告します

ふるさと納税ウクライナ緊急人道支援

寄附金額 **4,054万6,500円**
(令和5年1月末時点)

市では、時間や場所に関係なく全国のかたから寄附受付ができる『ふるさと納税』の仕組みを活用して、令和4年3月22日からウクライナ緊急人道支援の寄附を受け付けています。

実施期間 令和4年3月22日～
寄附件数 718件 (令和5年1月末時点)
用途 深谷市へ避難されたウクライナの方々への生活支援、ウクライナへの物資支援、子どもの保護などの人道支援に活用
寄附方法 ふるさと納税ポータルサイト『ふるさとチョイス』、『楽天ふるさと納税』、『ふるなび』、『auPAY』内の深谷市のページから手続き

ウクライナ人道支援に係る募金

募金額 **404万4,668円**
(令和5年1月末時点)

ウクライナ各地の戦闘の激化により、命や生活を脅かされているウクライナの人々を人道支援するため、令和4年3月5日から市内公共施設などに募金箱を設置しています。集まった募金は日本赤十字社を通じて人道危機救援金として送付します。

実施期間 令和4年3月5日～
募金箱設置場所 市役所本庁舎、各総合支所、市内公民館、アクアパラダイス・パティオ、道の駅など
用途 日本赤十字社を通じて、人道危機対応およびウクライナからの避難民を受け入れる周辺国などにおける救援活動に活用

深谷公民館の空き部屋を学習の場として開放しています

問い合わせ 深谷公民館 (☎571-0506)

深谷公民館では、施設の有効活用のため、市民が学習する場所として、深谷図書館の学習室が利用できない時間帯（閉館日および午後7時以降）に深谷公民館の空き部屋（当日利用されていない会議室）を開放しています。

利用対象 市内在住・在勤・在学者

利用内容 自主学習

開放時間 図書館閉館日＝午前9時～午後10時、図書館開館日＝午後6時～10時

※深谷公民館が全館利用している場合は開放なし。

利用方法 来館後、受付簿に氏名などを記入して利用する

マイナンバーカードの休日受け取り臨時窓口を開設しています

問い合わせ 市民課 (☎573-3151)

平日にマイナンバーカードの受け取りが困難なかたを対象に、土・日曜日、祝日の『休日受け取り臨時窓口』を開設します。完全予約制のため、予約なしでの受け取りはできません。必ず予約の上、窓口にお越しください。

開設日 3月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)・21日(祝)・25日(土)・26日(日)・4月1日(土)・2日(日)・8日(土)・22日(土)・5月13日(土)・14日(日)

開設場所 市民課（市役所本庁舎1階）

開設時間 午前9時～午後4時45分

予約について

- ・予約方法など詳しくは市ホームページをご覧ください。
- ・予約には市から郵送した『マイナンバーカード交付通知書』が必要です。
- ・予約枠には限りがあります。

新たに始まる制度・事業や、生活に身近な話題などをお知らせします

国民年金からのお知らせ

問い合わせ 熊谷年金事務所 ☎522-5012
 保険年金課 ☎574-6641

任意加入制度

65歳から受けられる『老齢基礎年金』は20歳から40年間保険料を納めなければ、満額を受け取れません。納め忘れなどにより保険料の納付済み期間が40年間に満たない場合は、60〜65歳になるまでの間に国民年金に任意加入し、保険料を納めることで満額に近づけることができます。(さかのぼっての加入はできません)。

なお、老齢基礎年金を受ける要件となる『原則10年以上の保険料の納付期間や免除期間』を満たさない場合は、70歳になるまで任意加入できます(昭和40年4月1日以前に生まれたかたに限る)。

また、海外に在住する日本国籍のかたも国民年金に任意加入できます。
 ◆保険料:月額1万6590円(令和4年度)

◆申請時に必要な物:年金手帳または基礎年金番号通知書・預貯金通帳・通帳届出印、本人確認書類

※65〜70歳になるまでの間に加入する場合、これのほかにも戸籍謄本などが必要となる場合があります。
 ※繰り上げ支給を受けているかたや、厚生年金などに加入しているかたは任意加入できません。

日本に住んでいる外国籍のかたも国民年金に加入します

外国籍のかたであっても、20〜60歳未満で日本国内に住所があるときには、国民年金に加入しなければなりません(厚生年金や共済年金に加入しているかたを除く)。住民登録のある市区町村の国民年金担当窓口で加入手続きをしてください。

なお、外国籍のかたが、国民年金保険料を6カ月以上納めて、年金給付を受けずに帰国した場合に、出国後2年以内に請求手続きをする、納めた期間に応じて脱退一時金を受けることができます。詳しくは、熊谷年金事務所までお問い合わせください。

4月から内職・就職相談窓口が移転します

問い合わせ 商工振興課 ☎577-3409

内職・就職相談室の閉鎖に伴い、内職・就職相談は、4月1日(土)より、一部業務を変更して継続します。

分(土・日曜日、祝日を除く) ※事前予約不要
 ところ 市役所本庁舎2階商工振興課

【内職相談】商工振興課で市に登録している内職提供事業者を紹介いたしますので、直接事業所へお問い合わせください。

【就職相談】ふるさとハローワーク(キララ上葉内)をご利用ください。相談日など詳しくは19ページ各種無料相談の「ふるさとハローワーク」をご確認ください。

ふかやだひすき! ふっかちゃんでんき



お譲りください! 安全で安心な太陽光発電余剰電力

①固定価格での買取

プランA	プランB
ふかやeパワーが余剰電力を買い取ります。買取価格 8.6円/kwh(税込、消費税率10%)	ふかやeパワーと電力の供給契約を締結します。買取価格 8.8円/kwh(税込、消費税率10%)

②寄附(お礼の品『ネギー』が受け取れます)

ふっかちゃんでんきに直接電気を寄附することで、その電気は深谷市の公共施設で使われます。電力寄附に際してお礼の品『ネギー(1kwhあたり9ネギー)』が受け取れます。詳しくはホームページ(『ふっかちゃんでんき』で検索)をご覧ください。

※『ふっかちゃんでんき』は深谷市も出資する地域に根差した電力会社です。

問い合わせ ふかやeパワー(株) 電話: 578-8217 担当: 紺野

市長の深い話

谷が

深谷市長 小島 進

4年ぶりの開催!ふかやシティハーフマラソン

この広報ふかやの目録が出るころには、無事終わっていることを祈りながらこのコラムを書いています。

『第17回ふかやシティハーフマラソン』が、4年ぶりに開催されます。キャッチフレーズは、『渋沢栄一のふるさとを走る』です。

ふかやシティハーフマラソンでは、毎回参加者から好評の栄一翁が愛したと伝わる『深谷名物煮ほうとう』のサービスも行う予定であり、実行委員会や武州煮ほうとう研究会の皆さまをはじめ、ご協力をいただきました方々に心より御礼申し上げます。



出場予定者は、4722人。実は私もその中の1人で、5キロの部にエントリーしています。出るからには、しっかり完走したいなと思ひ、準備として、新しいジョギングシューズを買い、自宅周辺をジョギングしています。欲を言えば、深谷をPRできるような演出も加えたいなと思っています。さて、練習の成果はどのくらいか…。

余談ですが、ジョギングシューズを選んでいるときに、若い店員さんが、『深谷市長さんですか?私アウトレットモールの近くに住んでいるんです。』と声を掛けてくれました。若者からこんな形で『アウトレットモール』という言葉が聞けて、素直につれしかたです。

さて、このシティハーフマラソンをはじめ、『コロナ禍でできなかったイベントが少しずつ再開しています。』

今年の4月には、花フェスタも4年ぶりに開催する予定です。内容も大幅にリニューアルし、深谷テラスに会場を移して実施します。オープンガーデンと併せて市内を回遊していただく仕掛けも考えていますので、楽しみにしてくださいませ。

ありがとうの手紙

栄一翁特別賞 中学生の部 渋沢栄一翁へ



岡部中学校2年(現3年) 齊藤優舞さん

私の祖母は深谷から遠く離れた岩手県に住んでいます。ですから、祖母とは年に一・二回しか会えません。そんな祖母と私の共通の話題は、栄一翁です。祖母と私はいつも電話で栄一翁の話をして、この時祖母はとても楽しそうです。

栄一翁はとてもすごい人だと思います。没後九十年たった今、遠く離れた私と祖母の心の架け橋になり、つないでくれました。本当にありがとうございます。そしてこれからも私と祖母でたくさん栄一翁の話をしていきます。

栄一翁特別賞 小学校低学年の部 しぶさわえいーさんへ



岡部西小学校2年(現3年) 加藤日夏詩さん

わたしがしぶさわえいーさんにありがとうをつたえたい理由は二つあります。

一つ目はふかやをゆう名にしてくれたからです。自分のすんでいるだひすきなふかやが日本中の人にってもらえてうれしいです。

二つ目は人の役にたつことの大切さを学んだからです。しぶさわえいーさんは、いつも一人一人が幸せになるようにがんばっていました。わたしのしよ来のゆめは、しぶさわえいーさんみたいなやさしい人になることです。